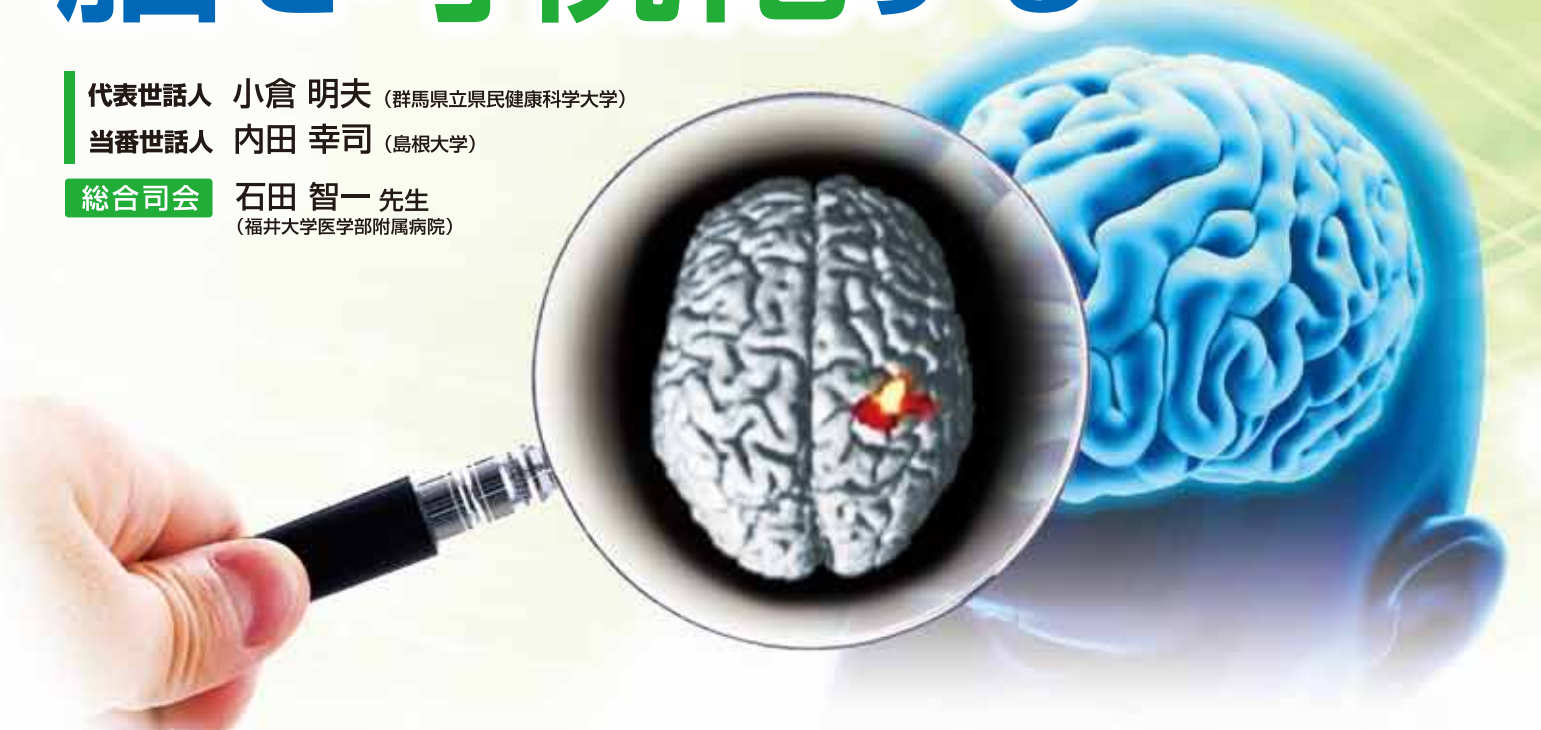


脳を可視化する

代表世話人 小倉 明夫 (群馬県立県民健康科学大学)

当番世話人 内田 幸司 (島根大学)

総合司会 石田 智一 先生
(福井大学医学部附属病院)



13:00 ~ 13:20	<p>開会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 当番世話人 内田 幸司 (島根大学) 情報提供 富士製薬工業株式会社
13:20 ~ 14:00	<p>教育講演</p> <p>「ここまでわかる!脳波・脳磁図」</p> <ul style="list-style-type: none"> 座長 内田 幸司 先生 (島根大学) 演者 荒木 俊彦 先生 (大阪大学医学部附属病院)
14:00 ~ 15:30	<p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> 座長 伊藤 由紀子 先生 (JCHO 仙台南病院) 平野 透 先生 (札幌医科大学附属病院) 演者 <p>「CT」 笹森 大輔 先生 (札幌白石記念病院)</p> <p>「MRI」 原田 邦明 先生 (日立メディコMRIシステム本部)</p> <p>「核医学」 小倉 利幸 先生 (札幌麻生脳神経外科病院)</p>

15:30 ~ 15:40	休憩
15:40 ~ 16:40	<p>特別講演</p> <p>「PET/SPECTによるヒト脳機能解析」</p> <ul style="list-style-type: none"> 座長 對間 博之 先生 (茨城県立医療大学) 演者 畑澤 順 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 核医学講座)
16:40 ~ 16:50	休憩
16:50 ~ 18:20	ディスカッション
18:20 ~ 18:30	<p>閉会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表世話人 小倉 明夫 (群馬県立県民健康科学大学)

2015年 **5月16日** 土 13:00▶18:30

千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市新千里東町1-4-2
TEL:06-6282-3777

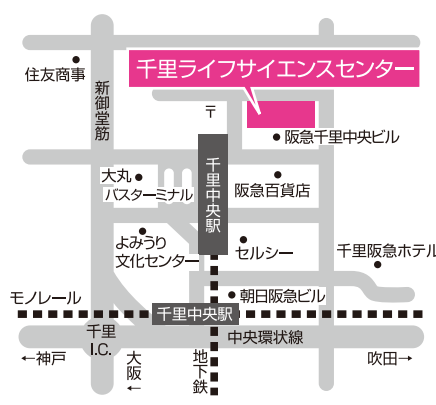
参加費 **1,000円**

共催 ●マルチモダリティシンポジウム“Versus”
(URL: <http://versus.kenkyuukai.jp>)

本会は磁気共鳴専門技術者更新のための認定研究会に登録されていますので、当日更新カードに押印させていただきます。また、下記認定につきまして単位・ポイントが認められます。
●日本核医学専門技師認定機構(3単位) ●日本救急撮影技師認定機構(2ポイント)
●日本X線CT専門技師認定機構(種別II-3 半日) ※詳しくは各機構HPをご覧ください。

●富士製薬工業株式会社/コニカミノルタヘルスケア株式会社

後援 公益社団法人日本放射線技術学会 近畿部会
公益社団法人大阪府放射線技師会



Access

- 地下鉄(北大阪急行電鉄)
御堂筋線 千里中央行終点
「千里中央」駅下車(北出口すぐ)
- 伊丹空港からお越しの方
大阪モノレール 門真市行
「千里中央」駅下車(徒歩約5分)
- 関西空港からお越しの方
①JR
「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。
②南海電気鉄道
「難波」駅から地下鉄御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。

テーマ

脳を可視化する

当番世話人 内田 幸司 (島根大学)

第13回マルチモダリティシンポジウムVersusを2015年5月16日(土)に大阪の千里ライフサイエンスセンターで開催いたします。本シンポジウムは、第1回が開催された2003年から数えて13年目を迎えます。

今年のテーマは「脳を可視化する」です。脳に関連するテーマは、2003年に横浜で開催された「Brain Perfusionについて」、2011年に札幌で開催された「脳を計測る」に次いで今回が3回目です。脳を可視化することは過去のテーマからも解るように古くから実現されています。具体的な画像診断情報として例えると、形態情報や血流情報(Brain Perfusion)に始まり、その情報を一般化して比較する(計測る)というところまで実現しました。近年では、より実用的な脳血流検出手法や脳の機能的結合情報に加え、新しい脳疾患診断薬の登場によって新たな脳の側面を(可視化)できるようになってきました。

今回のシンポジウムでは、前述の過去の手法も踏まえ、より新しい可視化技術についてディスカッションします。また、教育講演では脳の機能を可視化するうえで欠かせない検査手法である脳波や脳磁図の検査技術を学び、特別講演においては核医学検査手法を用いた脳機能解析を学びます。

「Versus」の語源はラテン語の「向きを変えた」です。日頃専門にしている分野以外にも目を向け、大いにディスカッションしていただくことを期待しております。